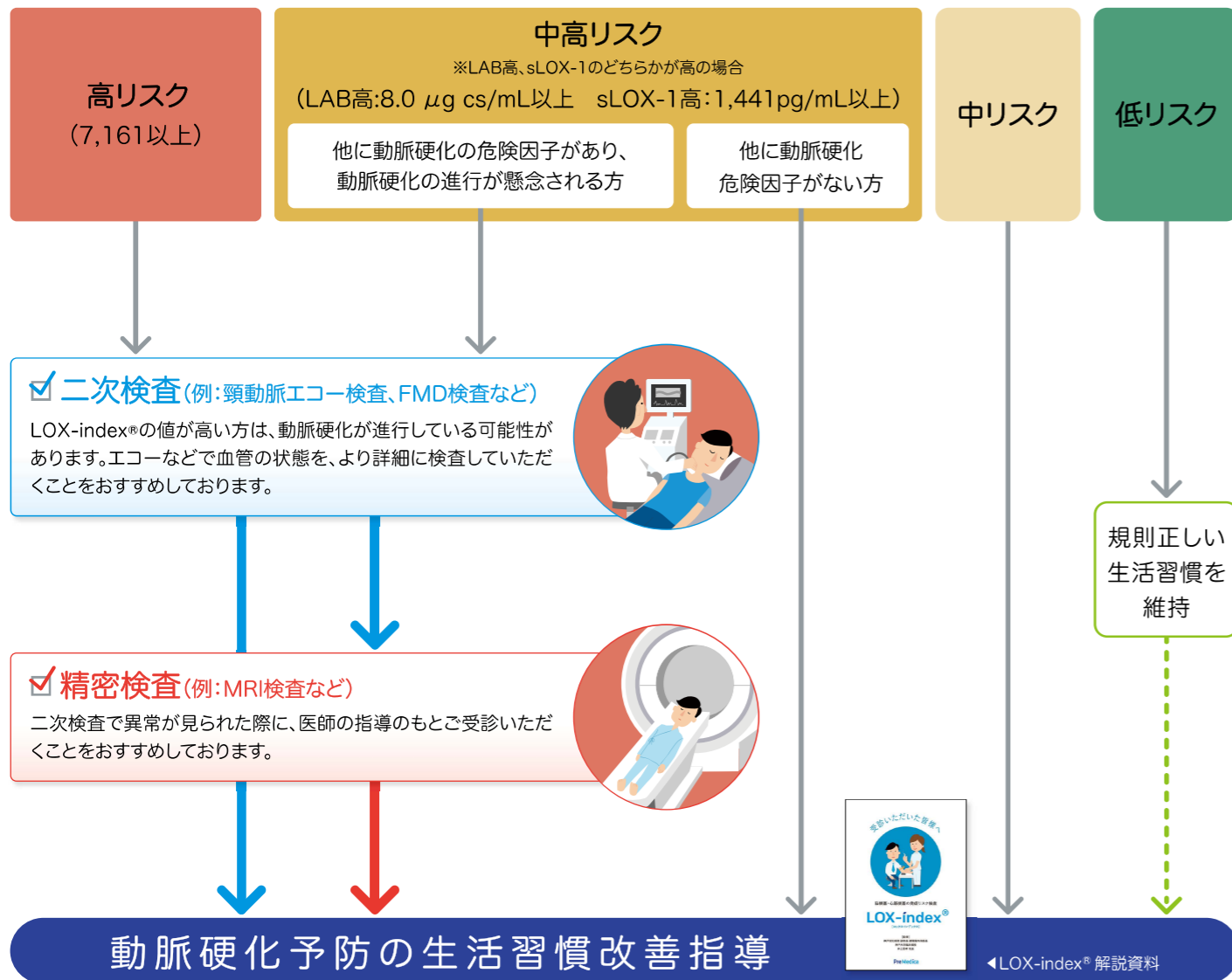


● 受診後の対応について ●

LOX-index®の結果に応じて、生活習慣の改善や予防への対策に取り組むことをおすすめします。

リスクが高かった方は、動脈硬化が進行している可能性が高いため、

必要に応じて二次検査や精密検査のご受診をおすすめします。



✓ 代表的な二次検査

頸動脈エコー検査

超音波の発信装置を首にあて、
動脈硬化の有無や程度を調べる検査です。

FMD検査

動脈硬化の前段階で起こる内皮障害の度合いを測定し、
早期の動脈硬化を調べる検査です。

CAVI検査、ABI/PWV検査

動脈の硬さ、つまりを検査します。
手足の血圧比や脈波を検査し、動脈硬化の程度を調べる検査です。

✓ 代表的な精密検査

MRI/MRA検査

電磁波を使用し、脳・心臓の断層像、血管の状態を映像化する検査です。

心臓核医学検査

放射線量をコンピューター処理して画像化し、
心臓の血液の流れを映し出す検査です。

心臓CT検査(コンピューター断層撮影)

X線とコンピューターを使い、心臓の状態を調べる検査です。

心臓カテーテル検査

体内にカテーテルを通し、造影剤を入れてX線撮影を行い、
血管の状態を調べる検査です。



5ff8246e76ef8

医療機関名：PMCクリニック

受診日：2021/4/1

受診者名：サンプル タロウ

カルテID：123456789

備考①：株式会社プリメディカ

備考②：

脳梗塞・心筋梗塞発症リスク検査報告書

LOX-index®

ロックス・インデックス

LOX-index®は脳梗塞・心筋梗塞の発症リスクを評価する指標です。

血中のsLOX-1(可溶性LOX-1:血中に放出されたLOX-1)とLAB(超悪玉コレステロール)を測定し、

脳梗塞・心筋梗塞発症リスクを4段階で判定いたします。

管理会社ユニークコード:yyyymmddXXXXXXXX

営業所番号:XXXXX

施設管理コード:XXXXX.XX

[検査受託] 株式会社プリメディカ

[測定・解析] 株式会社プリメディカ

検査責任者:坂爪 洋

PreMedica



氏名 サンプル タロウ 様	性別 男性	年齢 47歳
受診日 2021/4/1	カルテID 123456789	

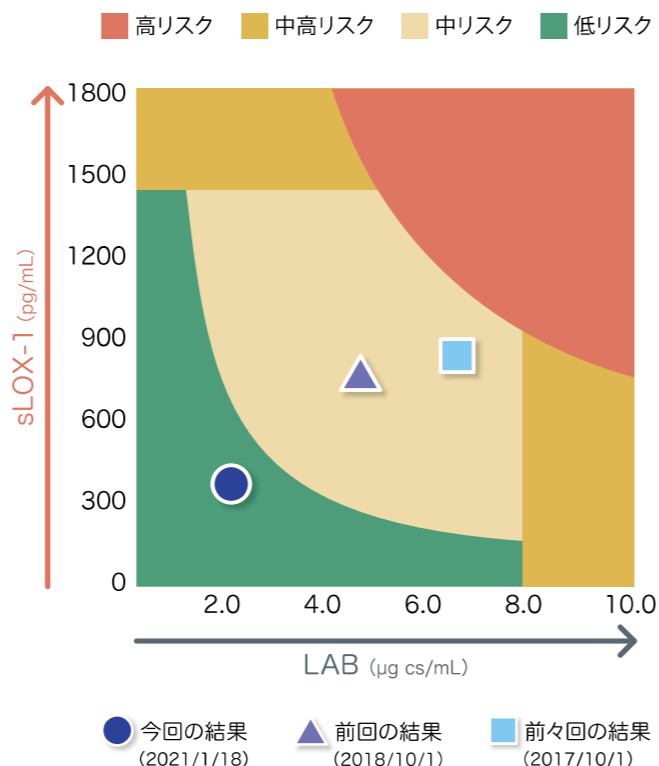
総合評価

脳梗塞・心筋梗塞発症

リスクは **低** です。

LOX-index® 今回の測定結果 **736**

	受診日	LOX-index®
今回	2021/1/18	736
前回	2018/10/1	3,555
前々回	2017/10/1	5,963



今回のLOX-index®検査の結果では、脳梗塞・心筋梗塞の発症リスクは低リスクと判定されました。

LOX-index®の値が低く、動脈硬化のリスクも低い理想的な状態と考えられます。しかし、動脈硬化が原因となる脳梗塞や心筋梗塞は、自覚症状がほとんど無いまま進行し、発症に至ります。脳梗塞・心筋梗塞は生活習慣の改善などで予防することができる可能性の高い疾患です。日頃からバランスの良い食事や運動を中心とし、今まで以上に健康的な生活習慣を心がけましょう。

また、予防や自身の健康状態を確認するためにも、LOX-index®検査を定期的にご受診いただくことをおすすめします。

※当検査は、研究検査項目になるため診断目的で使用いただくことはできません。
※本報告書は神戸労災病院 井上 信孝 先生にご監修いただいております。

受診コード：89DMGX07NP

個別評価データ

sLOX-1 今回の検査結果

320 pg/mL

sLOX-1の値は前回と比べて改善し、理想的な値まであと一步と判定されました。

ただし、安心は禁物です。動脈硬化は、特に加齢に伴って進行しやすくなります。また、高血圧や塩分摂取の増加、ストレスなどによりsLOX-1は高くなります。食生活の改善やストレスの解消などにより、健康的な生活習慣を心がけ、リスクの軽減に努めましょう。



	受診日	sLOX-1 (pg/mL)
今回	2021/1/18	320
前回	2018/10/1	790
前々回	2017/10/1	890

エスロックスワン
sLOX-1とは

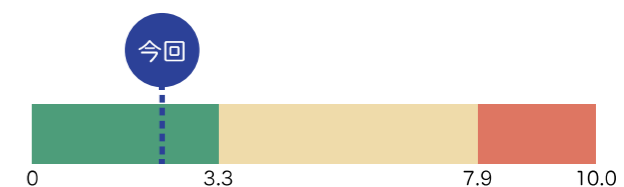
LOX-1は血液中から異物を取り除く働きをしています。本検査で実際に測定しているsLOX-1はLOX-1が血中に溶け出した状態のもので、炎症で上昇することが知られています。血管に障害が起こるとsLOX-1の生成が促進されるため、sLOX-1は血管炎症の指標として利用されています。

LAB 今回の検査結果

2.3 µg cs/mL

LABの値が前回と比べて改善し、理想的な状態と判定されました。

動脈硬化が進行しにくい状態が保たれていると考えられます。ただし、安心は禁物です。動脈硬化は、特に加齢に伴って進行しやすくなります。LABの値を理想的な状態で維持できるよう、今後も健康的な生活習慣を心がけましょう。



	受診日	LAB(µg cs/mL)
今回	2021/1/18	2.3
前回	2018/10/1	4.5
前々回	2017/10/1	6.7

エルエービー
LABとは

超悪玉コレステロールLABは、悪玉コレステロールであるLDLコレステロールが酸化し、サビ付いた状態を示します。LDLコレステロールの一部は活性酸素等の影響によりサビつきます。このサビ付いたLDLコレステロールは動脈硬化を引き起こす原因となります。

LOX-index® についてより詳しい情報はこちらから

検査報告書の見方、具体的な解説、数値を改善するためのアドバイスを公開中です。さらに会員登録すると、特別キャンペーンのご案内や、検査結果に応じて生活習慣改善に役立つコラムなどを提案いたします。

<https://www.premedica.co.jp/mypage/lox-index/>

LOX-index 会員登録 検索



受診コードを入力し、検査結果を登録!

マイページでいつでもLOX-index®の検査結果を閲覧できます。検査結果を登録し、予防に取り組みましょう!

受診コード **89DMGX07NP**